

## 所 感

1. 今回（6月下旬）に運転港内で捕獲した水スルルーは1954年7月金武湾で捕獲した水スルルーと同種で同じ大きさである。依つて続いて調査を実施すれば同魚の産卵期、産卵場及び回遊状況、活力等略詳細な調査が出来るものと考えられる。（卵巣発達せず未成熟のものである本年生のものと思われる。

2. 本試験に使用した発電機は120V、200Wの電球1箇しか点灯出来ないので作業上不便を感じる処多く又時たま消える場合もあつて時季的鯉餌料調査としては不充分であつた。

漁獲物の処理

水スルルーの残は標本として処理した。

キビナゴの残は1部は標本残りは雑魚のため捕獲地に於て放養した。

## 4 長崎県産カタクチイワシ蓄養移縮試験

喜屋武 俊彦

沖縄のカツオ漁業は、まだのびる可能性を持ちながら依然として低迷を続けている。その要因の一つに餌料の問題がある。カツオ漁業の遠洋化、大型化を図るためには、火光利用で採取された地元の餌の活力を高める蓄養技術の習得、餌料適種の移縮が必要である。

地元の餌料の蓄養試験は過去何回も行なわれたが良い結果は期待できなかった。これまで本土産カタクチイワシを使つての放流移縮試験も4回行なわれたが生存の確認はされていない。過去4回行なわれた放流移縮試験は蓄養もしないですぐに沖縄沿岸に放流し、沿岸で産卵させる方法でしたが、今回はイケス網を設置し、イケス内で産卵を行なわれた後、放流する方法をとった。

## 方 法

- (イ) 図南丸（159.31トン、400HP）で長崎県佐世保、名倉湾でカタクチイワシを購入、運搬し屋我地島我部の地先にあらかじめ調査船くろしお（21.44トン 100HP）で設置したイケス網（長さ13m、巾6m、深さ5mのモジ網製）に船の活間からバケツで水といっしょにすくって静かに移した。
- (ロ) 1日1～2回、計5kgの餌を給餌した。
- (ハ) 水温、塩分量を毎日測定し、死魚を取り出し、生殖腺の状態及び肥満度を知るために約10日に1回標本を取った。
- (ニ) 産卵が行なわれたかどうかを知るためにイケス網の周囲で約3日に1回プランクトンネットを曳いた。
- (ホ) 蓄養後、屋我地内海中央部で放流した。
- (ヘ) 放流後の追跡調査ネット曳、沿岸資源調査（カツオ餌料調査）と兼ねて集魚試験を行なった。又、関係漁業者からの発見、再捕の聞き込み調査を行なった。

## 結 果

長崎県産カタチイワシを屋我地我部地先で長期蓄養し、その後放流し、移殖繁殖を図った。蓄養はイケース網内で36日間行ない、生存率は約99%であった。蓄養中の肥満度、成熟係数から魚の状態は良く、産卵形跡がみられた。プランクトンネット採集でカタチイワシ類似卵がみとめられたが本種の卵かどうかはまだ疑問な点がある。

放流試験では蓄養中の逃避魚も入れて45,000尾放流したが放流後の追跡調査では生存は確認できなかった。

以上のことから沖縄沿岸では長期蓄養は可能であることがわかった。過去4回の移殖、繁殖試験も含めて沖縄沿岸では現在のところ移殖、繁殖の可能性は少ないことがわかった。

表1 現在までの放流試験概要

回次	放流年月日	放流場所	購入場所	放流量	体長	生殖腺熟度	備考
1	S44 6.28	座間味島 アゴの浦	熊本県天草部 御所浦町横浦	400kg 56,700尾	78-100mm	初熟放卵後	発見報告なし
2	S45 1.27	西表島 舟浮港内	長崎県西彼 杵郡畑下	600kg 90,000尾	283-1024mm	未熟	"
3	" 3.27	"	"	80,000 800kg ? 尾 90,000	707-904mm	初熟	3日目に同港内の浅場で底刺網に2尾再捕その後発見報告なし
4	S46 3.21	中城湾内	熊本県天草部 御所浦町横浦	600kg 100,000尾	754-1243mm	初~中熟	発見報告なし

表2 給餌時間、量及び水温、塩分量、死亡個体数、卵出現状況

年月日	給餌時間	給餌量		水温℃	塩分量%	死亡個体数	卵出現量	備考
		kg	計kg					
1972年 4月18日				16.2	3.286			佐世保港内
21	17:20	2.0	2.0	22.2		27	1	
22	09:45	2.0		22.2	3.363			
	16:03	3.0	5.0	22.8				
23	09:10	2.0		22.6				標本採取
	16:30	3.0	5.0	23.0	3.397		0	
24	09:15	2.0		22.8	3.408			
	17:20	3.0	5.0	22.9				
25	09:35	2.5		22.9				
	16:50	2.5	5.0	23.2	3.410		1	
26	09:10	5.0	5.0	23.4	3.411			
27	16:10	5.0	5.0	23.4	3.398			
28	10:30	3.0		23.4	3.406			標本採取
	16:25	2.0	5.0	23.4			6	
29	11:05	2.0	2.0	23.0	3.318	10		
5月 2日	08:37	3.0		23.8				イケス網流される
	16:30	2.0	5.0	24.2	3.396	23	11	3万尾流失
3	08:48	3.5	3.5	23.9	3.413			標本採取
4	18:17	2.5	2.5	24.1				
5	08:30	2.0		23.9				
	16:50	2.0	4.0	25.2	3.288		10	
6	08:40	2.0						標本採取
	16:45	2.0	4.0					
7	09:17	2.0	2.0	25.3	3.282		0	
9	09:25	3.0		25.0				
	16:53	2.0	5.0	24.8	3.338		0	
10	09:20	2.0		24.8				
	16:45	2.0	4.0	24.8	3.362			
11	09:34	2.0		25.0				
	17:00	2.0	4.0	24.9	3.361		0	
12	09:50	2.0		25.0				
	16:35	2.0	4.0	25.2				
13	16:20	2.0	2.0	25.2	3.369			
15	09:45	2.0	2.0	23.3				標本採取
18	09:45	2.0		21.1				餌料を変える
	17:20	5.0	7.0	21.3			0	湿重量
19	09:50	5.0		21.8				
	17:10	2.0	7.0	25.8	3.373			
20	09:50	5.0	5.0					